

平成 20 年 10 月 15 日
大王製紙株式会社

赤平製紙 バイオマスボイラー運転開始について

当社の関係会社である赤平製紙株式会社は、平成 20 年 10 月に建築廃材・伐木等の木屑を燃料とするバイオマスボイラーの試運転を行い、11 月より本格稼働を開始する予定です。

現在は、工場で使用する蒸気は、重油ボイラーにより行っていますが、バイオマスボイラー稼働後は製造工程で使用する蒸気は全て A 重油からバイオマスに転換することで、年間の A 重油使用量を 94%削減します。

バイオマスボイラー通常稼働時には、A 重油を使用したボイラーを使用することが無くなり、化石燃料を使用しない製造工場となります。

なお、2006 年度(平成 18 年度)の化石燃料由来の二酸化炭素排出量は、製紙業界平均で 1990 年度(平成 2 年度)対比 8.4%の削減ですが、赤平製紙(株)はバイオマスボイラー稼働後、二酸化炭素排出量が 17 千トン/年から 9 千トン/年と 46%削減になる見込みです。

<赤平製紙(株)概要>

所在地	北海道赤平市共和町 199 番地 5
資本金	1 億円
年商	34 億円 (平成 20 年 3 月期)
従業員	85 名 (平成 20 年 3 月末)
生産能力	1,200 トン/月
生產品種	ティッシュペーパー・トイレットペーパー・キッチンタオル

<新設バイオマスボイラー仕様>

投資額	6 億円
蒸発量	10t/h
蒸気条件	1.96MPa×203℃
使用燃料	木質燃料 (建築廃材、伐木等)

以上